



第22回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

慢性疼痛維持における脊髄シナプスタンパク質の機能を探る



演者: 片野 泰代 先生

関西医科大学 医学部 医化学講座 准教授

日時: 2024年 11月15日(金) 16:20-17:20

場所: 葛飾キャンパス研究棟11階第二ゼミ室

※他キャンパス向けにZoomでライブ配信いたします。

体性感覚の一つである痛みは、警告信号として生体防御に必要不可欠な感覚です。一方で、損傷治癒後も長期間持続する慢性疼痛には生理的意義はなく、この状態自体が「疾患」として理解されています。慢性疼痛疾患には、既存の鎮痛薬が十分に奏功しない症例も含まれます。私達はその一つである神経障害性疼痛の新たな関連分子を同定し、その分子機序の解明と新規鎮痛薬開発をゴールとした研究を進めてきました。具体的には、マウスで神経障害性疼痛モデルマウスを作成し、脊髄後角に焦点を当てた研究を行っています。本セミナーでは、疼痛伝達経路における脊髄後角の役割、位置付けに加え、これまでに我々が脊髄後角から同定した神経障害性疼痛に関連するシナプスタンパク質についての研究進捗を紹介します。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し、2016年度に脳学際研究部門 (BIRD) が発足されました。2021年からはパラレル脳部門として新たに再編し、脳神経研究のより一層の発展を目指して、学内の工・先進工・創域理工工・薬学部・生命研および学外の研究機関との共同研究を推進しています。

本講演は公開セミナーです。他大学からの参加の場合は世話人までご一報ください。

ZoomミーティングID: 後日メールでお知らせします。

世話人: 先進工学部生命システム工学科 鈴木 敢三 kanzo.suzuki@rs.tus.ac.jp

